

桂精機製作所の2020年代 未来を見据えた 盤石の体制づくり

2020年のカーボンニュートラル宣言に加え、新型コロナウイルスによるパンデミックも発生。先行きの見通しが難しい時代においても企業として永続的に発展していくために、大きな体制変化を実施しました。



より強いグループをつくるために

2015年、(株)KL&SHホールディングスを設立し、ホールディングス体制に移行。2021年には、桂精機製作所の熱設備事業部と東京瓦斯電炉が統合して新会社となるという、大きな組織改革も実施。機能別に会社を設けることで、各事業の得意分野を存分に発揮できるよう、グループ力の強化を図る。

グループをより強くする4本の柱

現在のカツラグループを構成するのは5社。LPガス供給機器を桂精機製作所、省エネ・環境商材を含む熱設備をヒートエナジーテック、バルク事業をカツラプランテックとバルクセーフティー、そして、基幹システム構築などのDXをエナジー・ソリューションズがそれぞれ担う。

カツラグループのDX戦略

社会全体でDXが推進される今、ガスや電気は自動検針を行ってデータを収集・蓄積し、使用状況を監視できるシステムの導入が急速に進んでいる。

ガス業界向け基幹システムESコア開発を手掛けてきた(株)エナジーソ・リューションズが、カツラグループ全体のDX強化を図り、各事業のサービス拡大を担うこととなる。

